### 業務実績報告書

提出日2020年 1月19日

- 1. 職名・氏名 教授 浅沼 美忠
- 2. 学位 学位 <u>修士</u>、専門分野 <u>経済学</u>、授与機関 <u>早稲田大学大学院</u>、授与 年月 1984年3月
- 3. 教育活動

## (1)講義・演習・実験・実習

- ① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 公益事業論(2単位 毎年開講) 3年生 (2003年度以前~2019年度)
- ② 内容・ねらい

電気通信、電力、鉄道等の公益事業がこれまでなぜ参入規制や価格規制等が課せられてきたのか、また、公益事業の規制緩和がなぜ求められているのかを理解し、個々の公益事業の規制の現状を理解することを目標とした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

講義のテーマごとに、たとえば電気事業の講義では「自宅ではオール電化にしているか」などのアンケートを行い、公益事業への関心、興味を持ってもらうように努めた。また、講義内容が正しく理解されているかを確認するため、毎回講義の後にミニテストを実施し、次回の講義で解説し、重要なポイントを強調した。期末試験については課題レポートとし、関心のある分野について学生各自が自分で調べる機会を与えた。

- ① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等地方公企業論(2単位 毎年開講) 2年生 (2003年度以前~2019年度)
- ② 内容・ねらい

地方公企業(地方公営企業、地方公社、第三セクター等)について、基礎的な理論と制度面の基礎知識、さらには民間委託、PFI、地方独立行政法人など最近のトピックスを取り上げ、できるだけわかりやすく講義することで、身近な存在である地方公企業への関心を高めることを目標とした。また、委員として関係している県内における水道料金あるいは下水道料金改定の状況についても話題提供した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

2016年度より配布資料を一新して講義を行い、分かりやすい内容とするように努めた。また、できるだけ板書をするようにし、講義中の学生の作業を増やすようにした。さらに、講義内容が正しく理解されているかを確認するため、毎回講義の後にミニテストを実施し、次回の講義で解説し、重要なポイントを強調した。

- ① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等基礎ゼミ(2単位 毎年開講) 2年生 (2004年度~2019年度)
- ② 内容・ねらい

2017 年度からは自身の共著である「町屋・古民家再生の再生学」をテキストに用い、地域の 未活用資源を活用した地域活性化策について事例を中心に検討した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

2017年度からは自身の共著をテキストに使用した。また、坂井市竹田地区における廃校や古民家の活用例の現場を訪問し、実際の姿を見ることで理解を深めるための工夫を行った。また、2019年度は有形文化財であるえちぜん鉄道永平寺口駅および旧京都電燈古市変電所を実際に見に行き、活用方法について議論した。

① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

外書講読 I (2 単位 毎年開講) 2 年生 (2003 年度以前~2019 年度)

② 内容・ねらい

企業と社会の関係を学ぶために、企業の社会的責任(CSR)に関する英語文献を輪読した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

CSR について経済・経営に関する専門用語を理解してもらうことに力点を置くと同時に、グループで実際の米国企業等の CSR を調べてもらい、発表してもらった。また、発表された企業中から CSR アワードをみんなで選出し、関心を高めるための工夫を行った。

① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

演習 I (4 単位 毎年開講) 3 年生 (2003 年度以前~2019 度)

② 内容・ねらい

2017 年度は内閣府の RESAS コンテストに挑戦し、2つの提案書を提出した。2018 年度は 再開発事業やリノベーションが進む、福井駅西口商店街の活性化方策を検討した。2019 年度は 「地域を経営する」という視点から、RESAS を用いて県内市町の人口・経済分析を行い、地域課題の抽出、課題解決策を検討した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

学生の関心事等によって毎年演習の進め方は多少異なるが、基本的には学生の報告・発表だけでなく、えちぜん鉄道、福井鉄道、福井県庁、福井市役所、まちづくり福井等にヒアリング調査も行い、学生に現場を見せることで理解を深めるようにした。

2017年度では内閣府の RESAS コンテストに 2 チームが参加し、提案書を提出した。それぞれのテーマは、「企業内保育園で福井の人口流出を止める!」、「外国人観光客の増加で福井を活性化!」である。主体性を重視し、両チームとも自分たちでアイデアを出し合い、提案書の作成を完成させた。

2018年度は福井駅西口商店街の活性化方策を検討するために、まちづくり福井(株)や福井市からの聞き取り調査などを行い、「福井駅西口商店街のまちづくり戦略」として調査結果をまとめた。

2019年度は、坂井市からの要請があり、老朽化したえちぜん鉄道西長田駅の改築に伴い、地域で活用できる駅舎のあり方を市担当者と議論した。

① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

演習Ⅱ (4単位 毎年開講) 4年生 (2003年度以前~2019年度)

② 内容・ねらい

演習 I 等での学習を踏まえ、研究課題を各自設定し、文献・資料収集、調査などを行い、卒業論文あるいは卒業レポートとしてまとめることを目標とした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

学生による卒業研究の報告、議論を中心とした内容であるが、教員も各種委員会、審議会等での議論の内容、海外の公益事業の紹介など、できるだけ報告する機会を持つようにした。

- ① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 非営利組織論(2単位 隔年) 3年生 (2019年度)
- ② 内容・ねらい

非営利組織(NPO)に関する学問的な知識とその具体的な活動について講義し、現代社会における NPO の機能や役割を理解してもらうことを目標とした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

非常勤講師を含め3人で講義を分担し、最初の5回分の講義を担当した。NPOを理解してもらう導入部分の講義であるために、学問的な基礎知識と我が国の制度について理解を深めてもらうように努めた。

① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等大学院・公益事業論(2単位 隔年) 1.2年生 (2005年度~2019年度)

#### ② 内容・ねらい

経済学の理論、知識を応用することによって市場メカニズムの問題点、規制の問題点を理解する。その上で、規制のあり方について理論に基づいて考えることができるようになることを目標とした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

規制緩和、規制改革の歴史、背景等について重点を置いた講義とすることで、規制改革の進捗についての理解を深めるようにした。また、勝山市等での水道・下水道料金の検討、あるいは福井鉄道福武線の再建策なども紹介しながら、地元公益事業についての理解も深めることを考えた。

### (2)非常勤講師担当科目

- ① 担当科目名(単位数) 開講学校名 愛知大学経済学部「農業経済論」(2単位)(2015年度~2019年度)
- ② 内容・ねらい

農業問題を経済学的に考える視点につけると同時に、農業が自然環境や他産業など幅広い分野と深い関係性があり、そうした関係性を活かした農業・農村の最近の取り組み、実践を紹介しながら、農業・農村のあり方や可能性についての理解を深める。

- ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受講生との対話形式で講義を進め、テーマについて一緒に考えることを重視した。
- ④ 本学における業務との関連性

三国・あわら(坂井北部)丘陵地営農対策会議における研修・調査プロジェクトの成果を活かしながら、農業・農村地域における現状や様々な課題等を話題に取り上げた。

(3)その他の教育活動

#### 4. 研究業績

# (1)研究業績の公表

① 論文

「福井県高速交通体系と移動効果- 北陸新幹線延伸による福井県への将来的影響について- 」 『地域公共政策研究』第 29 号、2019 年 11 月

- ② 著書
- ③ 学会報告等

「福井県高速交通体系と移動効果- 北陸新幹線延伸による福井県への将来的影響について- 」 (第9回北陸地域政策研究フォーラム、2019年3月19日)

④ その他の公表実績

#### (2)学会活動等

学会でのコメンテーター、司会活動(担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日))

学会での役職など (学会名)

学会・分科会の開催運営(担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所)

## (3)研究会活動等

- ① その他の研究活動参加
- ② その活動による成果

(4)外部資金·競争的資金獲得実績

(5)特許出願

#### 5. 地域•社会貢献

#### (1)学外団体

① 国・地方公共団体等の委員会・審議会

あわら市地域公共交通会議会長 2008年6月~現在に至る

永平寺町地域公共交通会議会長 2006年12月~現在に至る

坂井市地域公共交通会議委員長 2006年12月~現在に至る

坂井市地域公共交通活性化協議会委員長 2019 年 4 月~2021 年 3 月

越前町地域公共交通会議副会長 2007年4月~現在に至る

国土交通省「地域公共交通マネジャー」2017年4月~現在に至る

福井鉄道福武線活性化連携協議会座長 2008年5月~現在に至る

坂井市指定管理者評価委員会委員長 2012年7月~現在に至る

坂井市指定管理者選定委員会委員長 2012年11月~現在に至る

アオッサ「県民ホール」指定管理者選定委員会委員長 2014 年 7 月〜現在に至る

越前市下水道事業推進対策協議会委員 2016年8月~現在に至る

小浜市地方卸売市場の今後のあり方検討会委員 2016年10月~2018年3月

小浜市水道ビジョン改訂検討委員会委員 2016年12月~2019年3月

福井鉄道交通圈地域公共交通網形成計画策定部会部会長 2017年度

福井市ガス事業のあり方検討委員会委員長 2017年度

敦賀市下水道事業経営戦略策定検討委員会委員長 2017年度

敦賀市新水道ビジョン等策定検討委員会委員長 2018年1月~2019年3月

勝山市上下水道料金制度審議会会長 2017年10月~現在に至る

コミュニティバス「すまいる」検討会委員長 2017年11月~2019年3月

鯖江市公共施設使用料改定委員会委員長 2018年7月~2018年11月

福井市ガス事業譲渡先選定委員会委員長 2018年7月~2018年11月

恐竜博物館運営協議会委員 2019年4月~現在に至る

敦賀市上下水道事業経営検討委員会委員長 2019 年度

あわら市水道料金等検討委員会委員長 2019 年度

坂井市上下水道事業包括的業務委託事業者選定委員会委員長 2019 年度

信号機のあり方に関する有識者検討会委員 2019 年度

福井県特定調達苦情検討委員会委員長 2012年4月~現在に至る

- ② 国・地方公共団体等の調査受託等
- ③ (公益性の強い)NPO·NGO 法人への参加
- ④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での)企業等での活動
- ⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
- ⑥ その他

#### (2)大学が主体となっている地域貢献活動等

① 公開講座・オープンカレッジの開講

県大ライブラリーカフェ講師「空き家・町家の創造的再生~著書を語る『町屋・古民家再生の経済学』~」、2017 年 10 月 29 日

② 社会人・高校生向けの講座

出張講義「福井県の経済と経営」鯖江高校、2017年10月27日

開放講義「福井県立大学経済学部の紹介」鯖江高校、2019年10月25日

③ その他

(3)その他(個人の資格で参加している社会活動等)

## 6. 大学の管理・運営

(1)役職(副学長、部局長、学科長)

経営学科長 2017年度~現在に至る

(2)委員会・チーム活動

学生支援委員会副委員長 2019 年度 学部内学生支援チーム 2017 年度

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など